

J-PARCハドロン事故に学ぶ クライシスコミュニケーション

2017.8.29. RA協議会年次大会

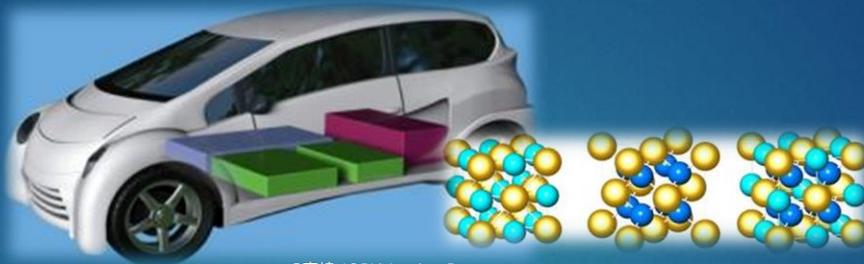
J-PARCセンター 広報セクション

岡田小枝子

大強度陽子加速器施設、J-PARCの挑戦 "宇宙、物質、生命の起源に迫る"



物質



©宮崎NORI/Newton Press



分子



原子



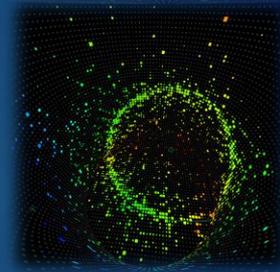
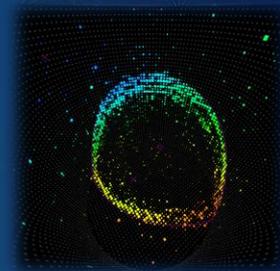
原子核



陽子



クォーク



電子

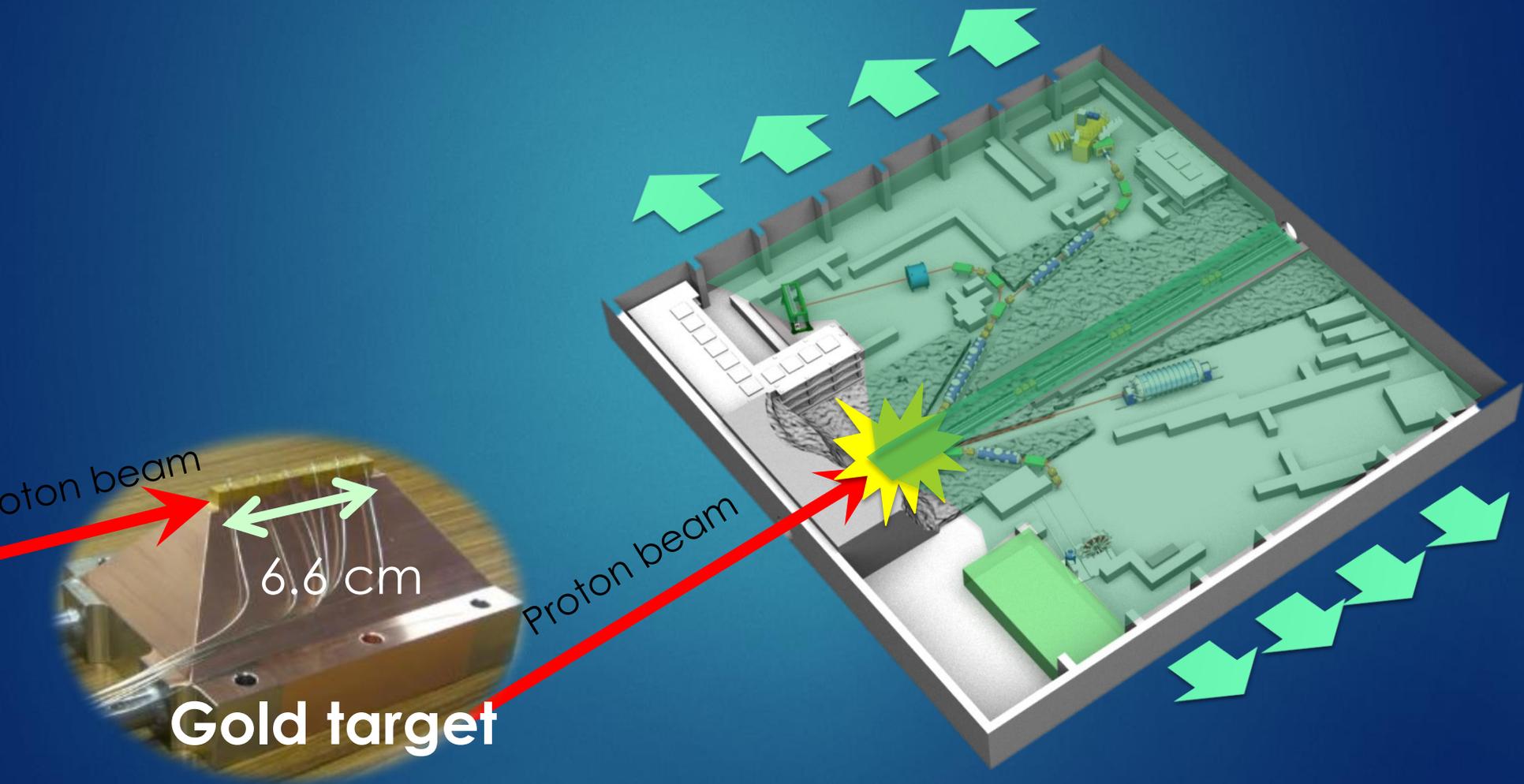


中性子



2013年 ハドロン事故

少量であっても放射性物質が
管理区域外に漏洩



Q1 事故によって失ったものは
何でしょう？

事故によって失ったもの

①信頼

- * 地域住民
- * J-PARC、JAEA、KEK研究者

②時間

- * ユーザーの機会
- * 若い研究者、学生のチャレンジの機会

③自信

事故の問題点

- ① 放射性物質を施設外及び周辺環境に漏えいさせたこと
- ② 国・自治体等の関係機関への通報連絡及び公表が不適切だったこと
- ③ ハドロン実験ホール内で作業者が放射性物質を吸入し内部被ばくしたこと

メディア関係

非常に大きな報道

2013.5.27朝日

2013.5.26読売

事故からの1年 (対外的な事項)

★プレス対応、報道

2013.5.23 **ハドロン実験施設事故発生★**

5.28 文部科学大臣より KEK及びJAEAへ安全体制緊急総点検等要請、有識者会議の設置★

5.30～ 茨城県知事、東海村長等、地元自治体から注意等要請★

8.12 原子力規制委員会へ法令報告第三報を提出、茨城県・東海村へも提出★

9.26 文科大臣へ措置報告書提出★

11.7 原子力規制庁による立入調査★

12.5 地元自治体による立入調査★

12.6 原子力規制庁よりリニアックの高出力化変更申請了解

12.13 茨城県原子力安全対策委員会で安全管理体制強化を報告

12.20 茨城県知事への措置報告書提出★

12.24 東海村長がハドロン施設以外の施設の利用再開了承を表明★

12.25 茨城県よりハドロン施設以外の施設の利用再開了承★

2014.1.21 那珂市議会原子力安全対策特別委員会に現状報告

3.7 JAEA東海研究開発センターによる住民懇談会にて現状報告

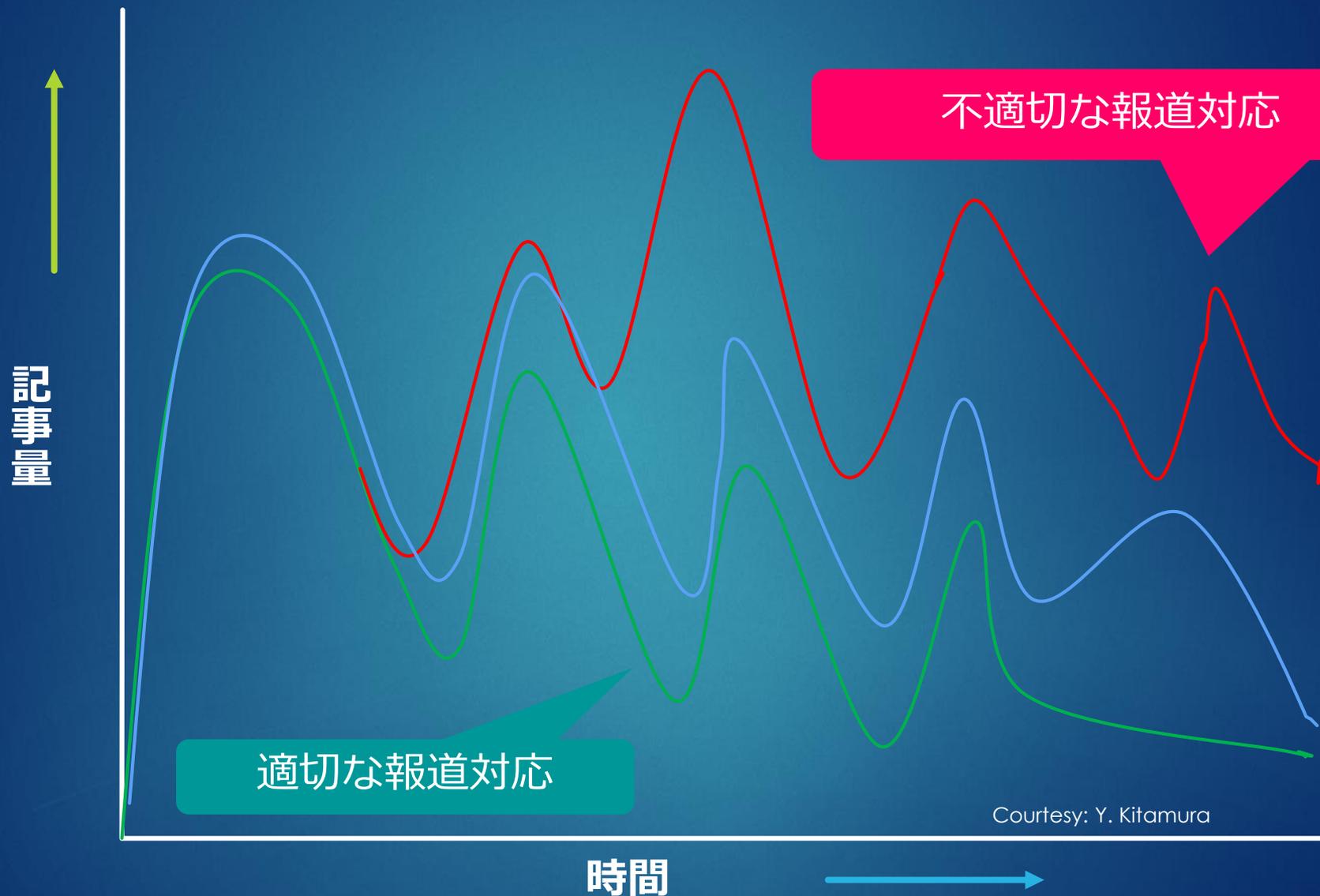
(第7回有識者会議資料1より抜粋)

事故からの1年(J-PARCセンター活動) ★プレス対応、報道

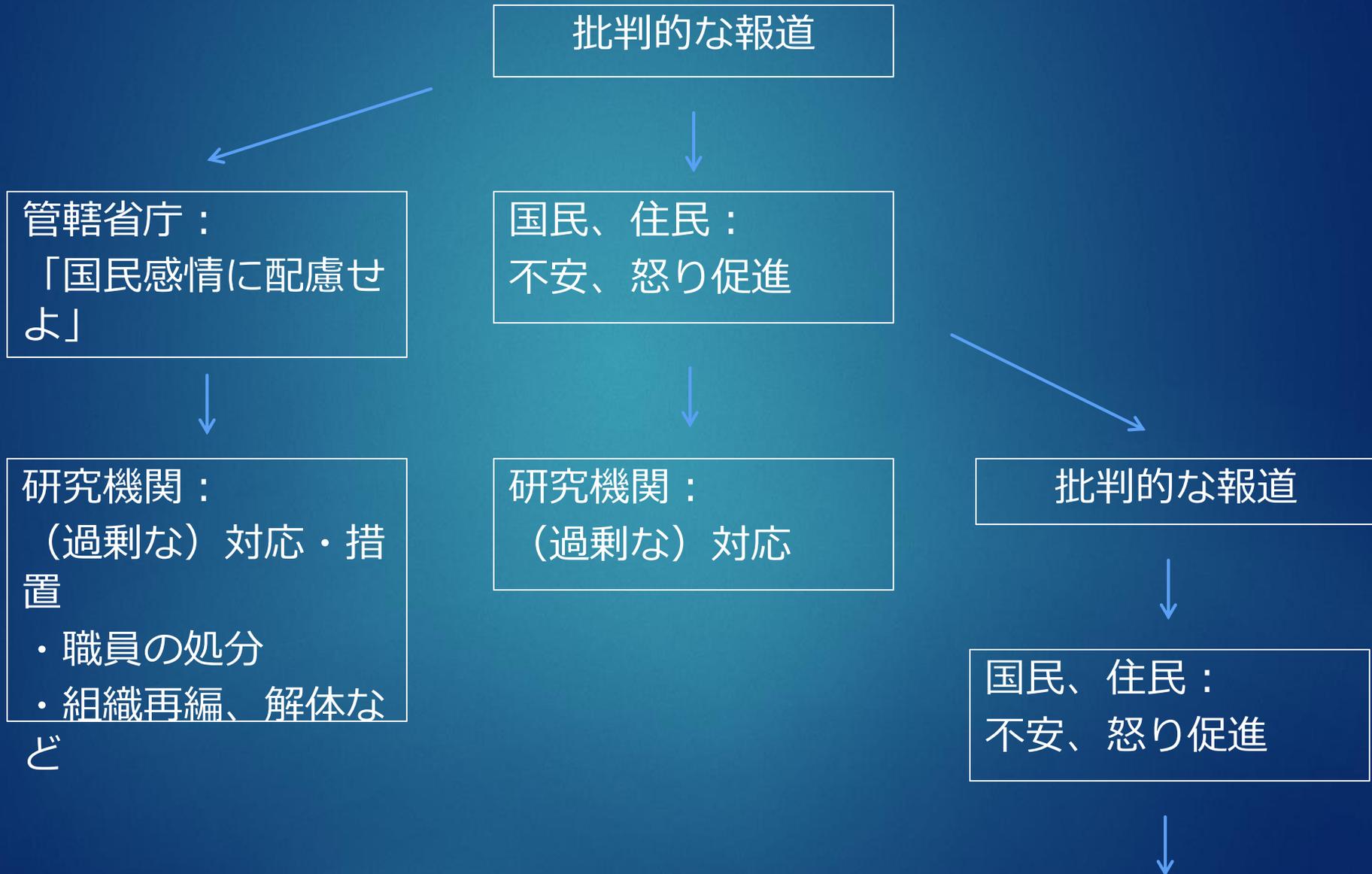
- 2013.5.24 J-PARC事故対策本部立ち上げ
再生タスクフォース(TF)を編成: 事故原因追及、再発防止検討
(2 作業チーム)
- 6.13-15 住民説明会(3回)を実施。★
- 6.18 有識者会議の立ち上げ: 6.21~8.22まで 6回開催。★
- 8.27 有識者会議答申書を受け取る。
再生TFの作業、有識者会議の答申を反映して、法令報告及び大臣報告
を作成。
- 10.1 安全管理組織改正を実施。
- 10.31-11/2 住民説明会(3回)を実施。★
- 11.1 安全関係規程、規則改正を実施。
- 11.7~ 安全教育を実施。
- 11.上旬 電源誤動作原因確定。
安全教育後、MLF及びニュートリノ実験施設の準備作業に着手。
- 12.11 加速器施設安全シンポジウム★
- 12.12-13 金標的目視確認、標的観測後、ハドロン改修作業に本格的に着手。★
- 2014.1.17 リニアック性能試験にて400 MeV 達成★
- 2.17 物質・生命科学実験施設利用運転再開★
- 5.26 ニュートリノ実験施設運転再開★

(第7回有識者会議資料1より抜粋)

なかなか収束しない



クライシス時の 不適切な報道対応がもたらすもの



「事故」が「事件」に！

1. 「放射性物質」→福島第一原発事故を想起させる
2. 初動の報道対応は適切だったか
 - ▶ 深夜（土曜日の午前2時）に会見を開催⇔情報量があまりない
→“プレスは怒りながら記事を書き、その感情がその後も続いたことが報道に反映した”（ある記者の談話）
3. 記者会見
 - ▶ 規制庁や県庁記者会で開催 = 社会部の記者
 - ・ 科学的な内容を簡単に理解できない
会見用の資料／研究者の説明
 - 要点を得ていないと反感を買う
 - 記事のトーンに反映
 - ・ 「責任の所在は」「その時どう考えていたか」といった科学的な事柄で無い質問をする

例：

平成25年6月18日規制庁報告書第二報提出

◆ 要旨

- ✓ 放射性物質の異常漏えいを想定した管理区域の見直し
- ✓ 安全管理体制および緊急時対応に係る問題点と対策方針

◆ 規制庁での会見時の質問

- ✓ 換気扇を回し続けたことに集中

分かりやすい表現にするため、当初掲載しました文書の一部を修正いたしました。(平成 25 年 7 月 2 日)

平成 25 年 6 月 27 日
J - P A R C センター

J - P A R C ハドロン実験施設における放射性物質漏えい事故に係わる「排風ファン停止措置の遅れ」及び「加速器運転停止の遅れ」について

5月23日に発生しましたJ - P A R C ハドロン実験施設での放射性物質の漏えい事故では、皆様には多大なご心配とご迷惑をお掛けし、心よりお詫び申し上げます。

本事故の対応におきまして、同施設における排風ファンの停止措置の遅れ及びJ - P A R C 加速器群の運転停止の遅れがありました。事故であるとの認識及びその共有に手間取ったこと等により加速器の運転を継続し、また、事故対応に迫られる中で排風ファンを停止する判断に至らなかった

Q2 あなたならどうしますか？

住民關係

住民説明会



原子力機構アトムワールド
(10月31日)



真崎コミュニティセンター
(11月1日)



原子力機構リコッティ
(11月2日)

- ▶ もともと建設に反対だった人々
- ▶ 市民オンブズマン など

住民の声

- ▶ 怒っている
- ▶ 信頼が裏切られて悲しい
- ▶ KEKの研究者は高学歴なので住民のことなど考えていない
- ▶ 建設前は住民説明会を開いていたのに、建設後は説明会もなし

市民オンブズマン

アルファベットの動物使い

古性隆の 陽はまた昇る 第7幕:ふんばれ常総市

政治団体「住みよい社会をめざす市民の会」は常総市民オンブズマンとしての経験も活かし、市民主権の社会の実現を目指して、市民目線での問題提起、行政監視、行政への提言等を行ってきている。弊ブログではその活動の一端を発信中！

茨城県内の原子力施設で何か起きてないかチェック！
(東原子力安全対策HP)

原子力施設立地地域での大規模災害発生時チェック！
(原子力規制委員会HP)

日本の原子力施設情報知りたい施設一詳細はこちら
→「新着情報」や「トピックス」

J-PARC運転状況	加速器	MLF	ハドロン	ニュートリノ
周辺放射線量	J-PARC	JCO		

<< 原子力規制委員会がJ-PARCの現地調査実施へ！ | 文部科学省、茨城県、東海村への立入調査も是非お望みください！ | TOP | J-PARC 今後は運転マニュアル違反か？ | 「東電事故の放射能汚染」を再考し、施設も停止する」といふ投稿マニュアルに因り、緊急発行！！ >>>

2013年06月21日

なにっ？ J-PARCの加速器はすぐ止まるから安全だって言ってたはずなのに…。住民にウソついてきたのか！ 住民をだまして東海村の地にJ-PARCを造ったのか！

6月20日付け毎日新聞の夕刊に

「茨城・東海村の原研施設放射能漏れ:J-PARC、加速器運転止まず 放射能漏れ確認後も」

という記事が掲載されました。

<http://mainichi.jp/select/news/20130620dde041040078000c.html>

とても重大なことが含まれている記事ですので、下記に引用させていただきます。

茨城県東海村の加速器実験施設「J-PARC」(ジェイパーク)の放射能漏れで、J-PARCセンターが漏えい確認後も約4時間40分にわたり、実験装置である加速器の運転を続けていたことが20日、センターへの取材で分かった。施設の排気ファンを回し続けていたことも明らかになっており、センターの危機意識の欠如が改めて露呈した格好だ。

茨城県東海村の加速器実験施設「J-PARC」(ジェイパーク)の放射能漏れで、J-PARCセンターが漏えい確認後も約4時間40分にわたり、実験装置である加速器の運転を続けていたことが20日、センターへの取材で分かった。施設の排気ファンを回し続けていたことも明らかになっており、センターの危機意識の欠如が改めて露呈した格好だ。

センターは「運転停止の判断も遅れたため、加速器の停止も遅れた」と判断の遅れを認め、上で、「加速器を停止するためにはある程度の人手が必要。夜間だったため、すぐに研究者らを集められなかった」と説明した。

センターによると6月24日午後6時ごろ、J-PARCの「ハドロン実験施設」から放射性物質が外部に漏えいしたことを確認。しかし、実験再開を念頭に加速器を停止しなかった。その後、原子力規制庁に報告し法令報告に該当すると判断。茨城県や東海村など地元自治体にも第一報を連絡した直後の同10時40分ごろ、ようやく止めた。この間、加速器が発する陽子ビームを全体的に遮断しておらず、加速器の運転だけでは新たな放射性物質は発生しない。

近くに住む東海村の大堀利之さん(77)は「初動対応で安全措置がとられていない。危機の時にはすぐにシャットダウンの動作に移るべきだ。住民が放射能問題に敏感になっているという感覚がないのではないかと憤った。【仙台発】

みなさん、一読してどのように思われましたか？

私の意見は…

「だめ、だめ、だめ！！なんでこんな言い訳をしたんだ！！何を考えているんだ！！」

です。

こんな言い訳をしてしまって、…良いと思っているのでしょうか。

私は本当に腹になります。

こんな言い訳をしたら、J-PARCに対する不信感がますます大きくなるだけだということ、なぜ気付かないのでしょうか！！！！

私は、本当に怒っています。怒り爆発です。

皆さんは私がどこの部分に対して怒っているかわかりでしょうか。

一番私がコチンと来たのは、J-PARCセンターが次のように説明したという部分です。

常総市
京都大学
茨城大学
土木学会・地盤工学会
防災科学技術研究所
防災システム研究所
人と防災未来センター
国際気象(株)
茨城県
常総市
■常総市 ハザードマップ
鬼怒川流域
小貝川・利根川流域
■常総市
常総市役所HP
常総市議会HP
常総市災害ボランティアセンター
関東・東北豪雨水害
■常総市 水害(気象庁)
アメダス「常陸」
アメダス「関東地方」
防災情報(茨城)
■常総市 水害(水位)
鬼怒川 本町:豊水橋下流200m
鬼怒川 水海道水位観測所(ライブカメラ)
鬼怒川 下雲市津原:大形橋下流50m
小貝川 水巻田:上野 長峰橋下流400m
小貝川 上野水位観測所(ライブカメラ)
小貝川 瀧野:大和橋下流700m
小貝川 川又町:川又橋上流

2013年12月14日

大門実紀史参議院議員、大内久美子茨城県議会議員の原子力規制庁、文部科学省、及び経済産業省との交渉に私も同席させて頂き、いろいろ質問させて頂きました(1)

12月13日午後、私は参議院議員会館に行ってきました。



大門実紀史参議院議員、大内久美子茨城県議会議員の原子力規制庁、文部科学省、及び経済産業省との交渉に私も同席させて頂き、いろいろ質問することができました。

このような機会を作って下さった大門実紀史参議院議員、大内久美子茨城県議会議員及びご尽力下さった皆さまに、心より感謝申し上げます。

今回の質問は次の5項目にわたりました。

1. JCOの低レベル放射性廃棄物の焼却施設設置計画について
2. J-PARCの運転再開について
3. 日本原子力発電株式会社の東海第2発電所について
4. 日本原子力研究開発機構東海再処理工場について

= 金子謙貞さん、頑張って
(03/03)

- = 高杉市長へ (03/03)
- = 宝町 (03/03)
- = 市民 (03/03)
- = 三妻 (03/03)
- = 正道を歩む市民 (03/03)
- = 常盤をわきまえる (03/03)
- = 三坂 (03/03)
- = (03/03)
- = 三坂住民 (03/03)
- = 天満町 (03/03)
- = 市民 (03/03)
- = 丸沼川太公望 (03/03)

小林副議員の一般質問「なくなった方、その地区で被害を受けた方々に謝罪と賠償をすべきだ。」「証拠があるとか無いとかで争うなく、市長が2.5を認めれば以上それで済むだ。」

- = 五家 (03/02)
- = 正道を歩む市民 (03/02)
- = 市民 (03/02)
- = (03/02)
- = (03/02)
- = 常盤市民 (03/02)
- = 森下 (03/02)
- = 橋本町 (03/02)
- = (03/02)
- = 白畑 (03/02)
- = 見捨てられていた市民 (03/02)
- = (03/02)
- = 被害者 (03/02)
- = 三坂町 (03/02)
- = 市民 (03/02)
- = 三坂新田町A (03/02)

9月2日の中川康美議員の一般質問に三坂地区の被害者の皆さん、ご注目です!!!「関東連帯総会インターチェンジ周辺関係事業関係の一般質問も次注目です!!!」

- = 五家 (02/29)
- = 三妻 (02/29)
- = 白畑 (02/29)
- = (02/29)
- = 三坂 (02/29)
- = (02/29)
- = 三坂新田町A (02/29)
- = 振手町 (02/29)
- = 市民 (02/29)

他人たちが後世の人たちのためにと涙水位を下げた「大洪水の記憶録」を収録していたら、どう思うかと?」

- = 古性隆 (02/29)
- = ねぎ (02/29)
- = (01/04)

Q3 あなたならどうしますか？

禍転じて福となす

一部の記者：J-PARCやKEKという研究機関があり、
ニュースになる研究をしていることを知り、研究成果の報
道もしてくれるように

市民オンブズマン：J-PARCの研究活動を応援してくれるように

office-aoba01.seesaa.net/category/20078180-1.html

目次で英語が読めるようになります

コスプレ

古性隆の 陽はまた昇る 第6幕:みんなで考えよう

政治団体「住みよい社会をめざす市民の会」は
常任市民オンブズマンとしての経験も活かし、
市民主義の社会の実現を目指して、
市民目録やの問題提起
行政監視
行政への提言
等を行っている。
弊ブログではその活動の一端を発信中！

茨城県内の原子力施設で何か起きてはいか子エック！
(県原子力安全対策課HP)

原子力発電立地地域での大規模災害発生予子エック！
(原子力規制委員会HP)

日本の原子力施設情報 知りたい施設一挙目はこちら
-「新着情報」や「トピックス」

ブログ管理人へのご連絡
info-furushe@agold.zenr.jp

■ 注目記事 ■

東海第2の原発・原電問題

J-PARC

KEK 高エキ研

JAEA 問題

JCO 問題

原子力の抱える諸問題

原発なんて必要ない

選挙・公職選挙法

常任市民 防災行政無線問題

常任市民 臨時駐車場問題

常任市民 郡市計画税問題

最新のコメント

J-PARC運転状況 加速器 MLF ハドロン ニュートリノ

周辺放射線量 J-PARC JCO

TOP / J-PARC

1 2 3 4 5 ... 22

2015年06月12日

J-PARCに少しでも興味を持って頂けるよう、今日の施設にビームを供給し、実験しているかの確認方法をお教えます！！「安全を最優先として多くの物理の成果を挙げられるよう、努力してまいります」というJ-PARCを私は応援しています！！

今回はJ-PARCのこと、

J-PARCの物質・生命科学実験施設(MLF)は、
皆さんご存知の通り、夏期停止期間前の利用運転が中止されています。

お待ちしています...

cs/20150515press.html

office...pdf

すべてのダウンロード

教訓

- ◆ メディアや住民に「伝わらなければ伝えていないのと同じ」
→伝わりにくい→事故・事件はトランスサイエンス的な事案
- ◆ 相手の不安や怒りに共感する態度がなければ、論理的な説明もきいてもらえない
 - 共感という“トンネル”を掘らないと理論的な説明という“電車”が通らない！
- ◆ メディアは情報を売るのがビジネス
 - 要求された情報は要求にできるだけ沿って、迅速に出す
 - 出せない場合、理由や出せそうな目途を知らせるのが重要